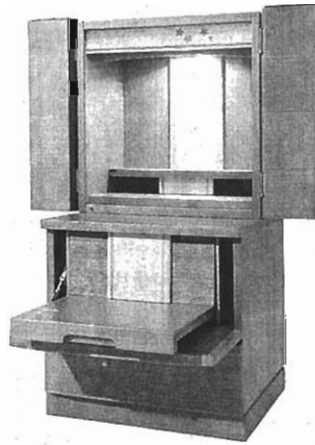


リビングに調和 仏壇を共同開発

赤澤と県立工技センター

【上】赤澤と工技センターが共同開発した仏壇「カノン」 【下】仏壇「ビューロー」



家具製造の赤澤（徳島市）と県立工業技術センター（同）が、家庭のリビングに調和する仏壇を共同開発した。

「KANON（カノン）」（高さ93センチ、幅45・8センチ、奥行き45センチ）は4枚扉の観音開き。香炉などを飾る棚はスライド式で、仏具やお供え物を置いたまま収納できる。ビューローは一枚扉を手前に倒して開くタイプ。扉の裏面が飾り棚

になり、下段の引き出しに道具を収納する。いずれもタモ材に職人が塗装を施し、高級感のある自然な木目に仕上げた。サイズは床やソファに座った時の目線も考慮した。仏壇のイメージを変えようと、工技センターが設計し、赤澤が製造した。県と赤澤で意

匠登録を出願している。赤澤正行社長は「得意先の反応が良く、既に注文もある。県外へ売り込みたい」と話している。受注生産で、メーカー希望価格は各30万円（税別）。問い合わせは同社（電0888-622-9206）。（大塚康代）